

兵高教組

調査情報

2013年4月18日 3号

兵庫県高等学校教職員組合調査部

TEL : 078-341-6745

FAX : 078-351-3185

URL : <http://www.hyogo-kokyoso.com>

mail : honbu@hyogo-kokyoso.com

早期退職者に冷たい態度 無責任な県教委

県立学校早期退職者89名の補充は約3分の一しか把握せず

2月末で県立学校を退職された方々が、県下で89名おられました。早期退職者の方々には、感謝状も渡さず、新聞報道もされていません。県教委の退職金削減のために、ひどい扱いを受けました。さらに89名の補充を県教委に問いただすと、約3分の1補充したとしか把握できていないとのこと。本定欠員の補充をきちんと把握できていないなどという、ずさんな県教委でいいのでしょうか？無責任な県教委の姿勢は許せません！

初任研について県と高教組の合意事項

高教組は、初任者研修が圧迫研修にならないように県教委と交渉し、下記の合意をしています。

初任者に対する「指導教員」について

「指導・被指導」の関係ではなく、あくまで相談役、助言者であり、教員として対等の関係である。

授業について

常時の授業見学や生徒の前での「指導」など、初任者の教育活動に支障となるようなことは行わない。

校外研修について

学校行事や初任者の事情があって、校外の研修を欠席せざるをえないやむを得ない事情がある場合には、校長から連絡してもらいたい。

校内研修について

研修内容については、職員会議などにおいて全教職員の共通理解を図る。職員会議・学年会議・部会・教科会などは重要な研修の場としてカウントする。「宿泊研修」のさい、勤務時間を厳守する。宿泊が困難な場合は、校長が連絡する。

加配について

初任者一人配置 11時間講師

初任者二人配置 一人常勤 + 11時間講師

初任者三人配置 一人常勤 + 22時間講師

身分について

「条件付き採用」期間であることを理由に、組合加入を妨害するような発言や「本採用にならないかもしれない」などといった不安をあおる発言は行わない。身分は保障されており、組合加入は全く影響のないことを徹底する。

今年から初任研が2年間に？

今年の初任者研修の計画をみると、校外研修25日を、1年目に20日、2年目に5日になっています。県教委は2年にした理由を「新採用者の負担軽減と2年目に担任になって不安を覚える人が多いため」としています。

高教組としては、初任者研修が2年間も続き、負担が軽減されたと考えられません。県教委は、2年目については、初任者研修ではなく、身分も保障されているとしていますが、初任者の立場にたてば、学校現場にいる方が、研修になるのではないのでしょうか？1年目の校外研修を減らせばすむ話です。生徒や子どもと接して学ぶことが多いのではないのでしょうか。学校にいる時間を増やす方が大切でしょう。1年間で研修を終え、さらに希望される方だけ別の研修を考えるべきでしょう。

高教組は、2年の初任研には反対です。1年間でやるべきであることを要求します。これからも初任者の方の研修が、過度の負担にならないように、よりよき初任研を追求していきます。

第一回臨時教職員の集い

採用試験対策講座

2013年5月18日(土)

13時30分～16時30分

兵庫県学校厚生会館

多数の参加を！